

災害を知ろう！災害に備えよう！



地震は前ぶれなく、突然発生します。また、夏から秋は台風や豪雨などの風水害の発生が多くなり、注意が必要です。ハザードブックなどで自分が住む地域の防災情報を正しく把握し、いざという時に適切な対応ができるように日頃から備えておくことが重要です。

■ 問い合わせ
危機管理防災課
(内線 453)

地震



今後 30 年以内にマグニチュード 7 級の地震が発生する確率は 70%とされています。市が実施する訓練に参加し、地震発生時に適切な対応ができるようにしましょう！

災害時の熱中症対策

災害時は、被災や避難生活による疲労や体調不良などにより、熱中症のリスクが普段より高まる恐れがあります。また、停電などにより冷房機器が使用できなくなる可能性もあります。日頃から熱中症の予防方法や発症時の対応を身に付けておき、災害時の熱中症を防ぎましょう。

熱中症対策 (例)

体を冷やす : のどが渇いていなくても小まめに水分・塩分補給をする、濡れたタオルなどを肌に当ててうちわであおぐ
停電時の対応 : 涼しい服装に着替える、風通しをよくする、電池式扇風機を使用する



県熱中症予防
サイト

住民版防災訓練

9月27日 (日) 午前9時～11時

市内小学校 12 校で防災訓練を実施します。



詳しくはこちら

水害



夏から秋は台風シーズンです。小まめに気象情報をチェックして、水害に備えましょう。地震とは異なり、事前に準備し避難することができます。

広域避難

荒川が氾濫しそうになったら、市内に留まらず、市外の浸水しない安全な場所に「広域避難」してください。市内に安全な場所はないと考えて行動しましょう。市外の親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先などに避難できるか、あらかじめ確認しておくことが大切です。

広域避難した時は「逃げサポ補助金」をご活用ください

荒川氾濫の危険性が高まり、市民が広域避難のために市外の宿泊施設を使用した場合の宿泊費用を補助します。

補助要件 市内 JR3 駅のいずれかを含む区間が計画運休の対象となり、荒川流域 (岩淵地点上流) での 3 日間積算流域雨量の予測が 400mm を超えた場合

補助金額 市民 1 人あたり最大 10,000 円

※1 泊 5,000 円、2 泊まで。ただし、補助金額が実費額を超える場合は実費額を補助



詳しくは
こちら

土のうステーション

水害時に家屋の浸水や水の流入を防ぐために、いつでも土のうを持ち出せる「土のうステーション」を、市内 23 カ所に設置しています。

※ 1 世帯・1 事業所あたり 15 袋まで利用可。事前申請不要



詳しくはこちら

正しい情報をキャッチ

災害時の情報発信

市では、災害時に SNS などを通じて情報発信を実施します。有事に備え、あらかじめフォローや配信登録をお願いします。



戸田市防災
ポータル



いいとだメール



LINE



X (旧 Twitter)

戸田市ハザードブック

市で起こり得る洪水や地震による災害の被害予測、指定避難所・緊急避難場所、防災情報などをまとめています。



電子版はこちら



10月30日 (金) まで受付中

令和 8 年熊本地震 災害義援金

皆さまのご協力をお願いします

■ 問い合わせ先
福祉保健センター
424-9564



詳しくはこちら